



しもの幸助 県政レポート

2015年11月
秋号 VOL.16

三重県議会議員(鈴鹿市選出)

しものこうすけ
下野幸助(39歳)

【現在の主な役職】

- ①人口減少対策調査特別委員会 委員長
- ②戦略企画雇用経済常任委員会 委員
- ③予算決算常任委員会 委員
- ④議会改革推進会議 幹事



2015年11月8日発行
伊勢志摩サミット開催まで200日

発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助

検索

平成27年三重県議会定例会(9月~10月議会)平成27年度9月補正予算の概要

今回の補正予算は、伊勢志摩サミット開催に備えるための警備体制の強化や道路・交通安全施設の整備等について、それぞれ所要の措置を講じるものです。補正予算額(一般会計)は約59億円となっています。

【9月補正後の予算規模】 (単位：億円)

	27年度補正前の額	補正後累計	9月補正額
一般会計	7,306	7,365	59
特別会計	1,483	1,483	0
企業会計	399	399	0
合計	9,187	9,246	59

【歳出】 ◎印はサミット関連事業(1)~(5)

9月補正におけるサミット関連事業総額は5,880,310千円

- (1) ◎公共事業(県単公共事業) 5,446,900千円
来春の伊勢志摩サミットの開催に備え、各国首脳等が安全で円滑に移動できるよう、会場地及びその周辺における県管理道路の整備や景観整備などを行う。
- (2) ◎交通安全施設整備関連事業(国補交通管制センター設置費ほか) 321,130千円

(1)と同様に信号機・道路標識などの改良や交通管制機器の整備などを行う。

(3) ◎テロ等対策費 78,929千円

伊勢志摩サミットに参加する各国首脳等の安全と行事の円滑な遂行を確保するとともに、テロなど違法行為の未然防止を図るため、110番システム端末の増設や警備計画書作成システムの警備などを行う。

(4) ◎(新)地震・津波観測システム(DONET)警備事業 33,240千円

伊勢志摩サミット開催時における伊勢志摩地域の津波防災対策を強化するため、南海トラフ地震による津波被害などの即時予測が可能な地震・津波観測システム(DONET)を整備する。

(5) ◎地域と共に創る電気自動車などを活用した低炭素社会モデル事業 111千円

伊勢志摩サミットの国際メディアセンターが設置される県営サンアリーナに、サミット当日及びサミット後の電気自動車などの利用を見込み、電気自動車用充電器を整備する。

(6) (新)プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 21,059千円

国費を活用して、県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、中小企業に対して、攻めの経営への気づきを促進するほか、必要なプロフェッショナル人材にかかるニーズを明確化して、その採用をサポートするなど、企業の経営革新の実現を促す取組を行う。

戦略企画雇用経済常任委員会の取り組み

1 伊勢志摩サミット(2016年5月26~27日開催)

(1) 北海道視察

9月2日(水)~3日(木)にかけて前回の日本開催地(2008年7月7日~9日)である北海道洞爺湖サミットの主要施設の現場視察等を行いました。

- ①ルストリゾート(北海道虻田郡留寿都村)
北海道洞爺湖サミット開催時にルストリゾート内に設置された「国際メディアセンター」や、「北海道情報館」などの当時の状況や、主要国などの要人・海外プレスへのおもてなしの取組などについて調査しました。
- ②ザ・ウインザーホテル洞爺(北海道虻田郡洞爺湖町)
北海道洞爺湖サミットの主会場となった「ザ・ウインザーホテル洞爺」を調査しました。
- ③北海道洞爺湖サミット記念館(北海道虻田郡洞爺湖町)
北海道洞爺湖サミットで主要8カ国(G8)首脳が実際に使用した円卓や、会合テーブル、各国首脳に送られたお土産、首脳関係者への食事メニュー、開催を支えた住民らの活躍とサミットの主要テーマだった環境関連のパネルなど、サミットに関連する様々な資料等から、当時の詳細な取組を調査しました。
- ④北海道庁/北海道議会(北海道札幌市)
配偶者プログラムなどの国主催事業において、北海道が提案し実施された内容や、観光入込客数の増加などサミット開催による効果、また、サミットを一過性にしないためのポスト・サミットの取組等について調査しました。



北海道洞爺湖サミット記念館にて(9月3日)

(2) 伊勢志摩サミット県民会議

伊勢志摩サミット三重県民会議(設立趣旨)とは
サミットを成功させるためには、県民と関係機関・団体、市町や県など114団体(2015年10月現在)が一丸となって、県全体の総力を結集し、幅

広い関係者の協力を得る必要があります。また、サミット開催による効果を、伊勢志摩地域のみならず、県全体に波及させるために、さらには一過性のものとしないうちに、県民一人ひとりが積極的に関わり、サミット開催後をも見据えた事業を企画し、全県的な取組として展開していく必要があります。このため、幅広い分野から多くの関係者の参画を得て、「伊勢志摩サミット三重県民会議」を設立し、万全の態勢でサミット開催に向けた準備を進めようとするものです。



●伊勢志摩サミット三重県民会議 シンボルマーク決定

(10月13日：第2回総会決定)
手を繋ぐ2人で、次世代へのつながりを表現しています。波線は、世界の人々と三重県の人々のつながりのタスキを表現しています。サミットで培われたあたたかなつながりを次世代へ受け継いでいこうという決意を込めています。

2 子どもたちのしごと体験事業

子どもたちのしごと体験として、三重県が主催、キッズニアが監修して行うことになりました。本事業は三重県内3地域で下記の通り開催予定です。

- ①鳥羽地域 2015年11月28日(土)
- ②鈴鹿地域 2016年1月23日(土)
場所：鈴鹿サーキット
申込受付は12月上旬開始予定(先着順)
- ③紀北地域 2016年2月~3月頃予定

■対象者：小中学生
■参加費：1体験500円または200円
人気の警察・消防や取材記者のおしごと、その地域ならではの特長あるおしごとを欲張り体験できます。詳しくは下記URLをご参照願います。

【三重ジョブ キッズキャラバン公式サイト】
<https://www.mie-caravan.com/>



人口減少対策調査特別委員会(委員長:下野幸助)の取り組み

1 当委員会における検討経緯

5月13日	・設置の議決(委員長:下野幸助)
6月1日	第1回 ・活動計画の作成
6月25日	第2回 ・執行部からの意見聴取 三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略について 移住の促進について 持続可能なしごとの創出について 地域への理解と愛着を育むキャリア教育について
7月13日	第3回 ・参考人招致 半農半X研究所 代表/塩見直紀氏
7月28日	県内調査 ・熊野市役所(地域おこし協力隊の取組など)(写真①) ・尾鷲高校(「尾鷲高校まちいく」の取組など)
8月6日 ~7日	県外調査 ・合同会社ツギ(鯖市に移住した若者の起業など) ・ええとこやんか三重移住相談センター(写真②)
8月11日	第4回 ・委員間討議(課題の整理など)
8月21日	第5回 ・提言案の提示・説明、委員間討議
9月1日	第6回 ・提言案の提示・説明、委員間討議
9月18日	第7回 ・今後の委員会の進め方について
10月13日	第8回 ・執行部からの意見聴取 中京圏、関西圏の移住について 高校生・保護者アンケート集計結果について



写真① 熊野市役所にて(7月28日)



写真② ええとこやんか三重移住相談センターにて(8月7日)

2 鈴木 三重県知事へ提言書を提出(9月4日)

人口減少対策調査特別委員会では、人口流出が続いている地方特有の課題である社会減対策を中心に議論を行い、下記3点を重点調査項目と位置付け、執行部からの聴き取り調査、参考人招致、県内外調査、委員間討議といった方法により、調査を重ねてきました。

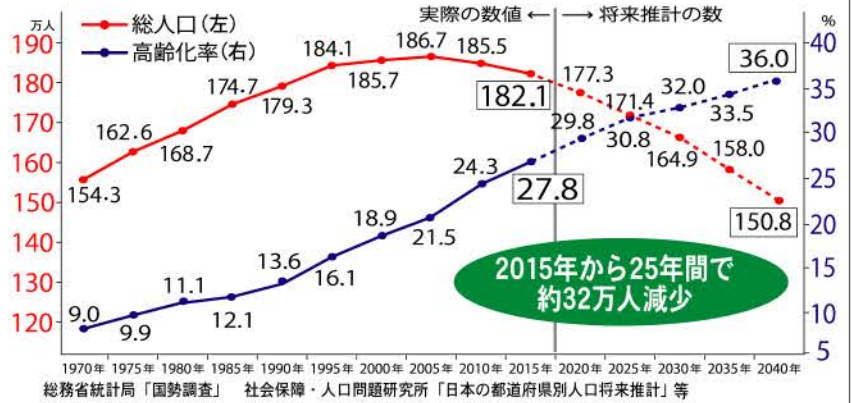


▲鈴木知事に提言書を提出(9月4日)

- (1) 「持続可能なしごとの創出」
- (2) 「地域への理解と愛着を育むキャリア教育」
- (3) 「移住の促進」

三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に時期をあわせ、これまでの委員会における重点調査項目に係る議論を申し述べ、今後の施策への反映を検討されることを要望するため、三重県知事へ提言を行いました。

3 三重県の総人口・高齢化率の推移と将来推計



平成27年度三重県長寿者の状況

平成27年9月15日における100歳以上の高齢者数は、県内で876人(男性103人、女性773人)と過去最多を更新しました。昨年度の調査と比べ48人の増加です。県内の最高齢者は女性109歳(伊勢市)、男性107歳(名張市)です。鈴鹿市においては、100歳以上の高齢者数は59人(男性6人、女性53人)となっています。

●三重県内の100歳以上の長寿者数の推移

調査年度	男	女	合計
27年度	103人	773人	876人
26年度	103人	725人	828人
25年度	98人	665人	763人
24年度	77人	628人	705人
23年度	85人	604人	689人
22年度	86人	542人	628人

27年度	男	女	合計
鈴鹿市	6人	53人	59人



合川地区敬老会にて(9月19日)

●三重県の健康寿命(平成25年)

(単位: 年)

男			女		
平均寿命	健康寿命	障がい期間	平均寿命	健康寿命	障がい期間
80.2	77.4	2.8	86.6	80.3	6.3

[健康寿命] = [0歳平均余命(平均寿命)] - [障がい期間]

磯山バイパス事業要望

県道鈴鹿環状線磯山バイパス2期工事(1.7km)の整備に関して、地域の自治会関係者が三重県議会議長に整備促進・予算要望など説明するため同席しました。なお、磯山バイパス整備に関する平成27年度当初予算は3000万円です。引き続き、地域の皆様のご意向を三重県議会へ届けさせていただきます。



三重県議会議長室(7月29日)

三重県の観光・スポーツ関連事業の概要

(1) 2016年12月10日 第70回 全国お茶まつり 三重大会

日本茶業の将来の発展に向け、全国茶業関係者が総力をあげて、全国大会を三重県鈴鹿市で開催し、生産技術の向上や消費拡大などの取組を促進します。

(2) 2017年4月21日~5月14日 全国菓子大博覧会 三重県大会

伊勢市で開催される第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会に参画し、『お菓子がつなぐ「おもてなし」を世界へ』をテーマに、地域文化の向上、三重県の「食」の産業振興につなげます。

(3) 2018年7月下旬~8月中旬 全国高等学校総合体育大会 幹事: 三重県

全国の高校生の技能向上とスポーツ精神の高揚による心身ともに健全な青少年の育成及び豊かな人間性を持ち地域の未来を担う人材育成を促進する。また、準備委員会での協議や来県者30万人に向けた三重の魅力発信とおもてなしを行います。

(4) 2020年8月17日~25日 全国中学校体育大会 東海ブロック

全国中学校体育大会は陸上競技、水泳、バレーボールなど全16競技が全国8ブロックの輪番で開催されており、平成32年度(2020年度)は三重県を含む東海4県で開催します。

(5) 2021年9月下旬頃 三重とこわか国体(第76回三重国体)

本県開催に向け、開催申請に必要な協議や手続きを進めるとともに、申請に併せて提出する「開催基本構想」を策定する。

■鈴鹿市での開催種目

- 水泳 ●サッカー(成年男子) ●ハンドボール(成年男女) ●ソフトテニス ●馬術 ●軟式野球(成年男子) ●ラグビーフットボール(少年男子) ●ゴルフ(少年男子)

鈴鹿市立合川小学校 公開英語授業視察

合川小学校は、平成26年度より3年間、教育課程特例校(文科省)として認可を受け、4年生以上の学年で英語科を実施し、県教育委員会の「小学校における英語のコミュニケーション力向上事業」(3年生~6年生)も受託し、3年生でも外国語活動を行っています。これらの取り組みについて授業視察を行いました。



鈴木知事と授業の講評(10月30日)

三重県議会議員 新政みえ所属

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助公式ホームページ

http://www.k-shimono.com

最新の活動状況がご覧いただけます



皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。



■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在39歳
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 初当選
- 2014年 5月 四日市港管理組合議会 議員
- 2015年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 2期目当選